

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	デイサービスおとは摂津弐号館		
○保護者評価実施期間	令和6年 4月 1日 ～ 令和7年 3月 31日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	14 (回答者数)	11
○従業者評価実施期間	令和6年 4月 1日 ～ 令和7年 3月 31日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5 (回答者数)	3
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 5月 2日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	生活当番を通して生活スキルの向上、就労、地域社会での自立した生活に向けての取り組み 個別で療育、集団活動での適応訓練	個人に合わせて次の課題をきめて取り組んでいる 個人に合わせて療育で読み書きの勉強や、生活当番で貯めたお金で買い物学習。目標を持って日々当番に取り組み、やる気を育てながらお金を学び生活力に繋げている	自信に繋がるよう繰り返し行い出来る事を増やしていく 一人で出来る事を増やし、当番でお金を貯め好きなお菓子を買うという意欲に繋げ、自主的に行動する力をつけていく。
2	隣接している児童館の2Fホールを共有している為集団遊びや子供たちのエネルギー発散が出来る	個人だけでなく、チームを組んで協力するゲームに参加し協調性を身につける 異年齢の集団活動で助け合いやルールを学んでいく活動	同じ遊びばかりじゃなく、色んな遊びゲームに取り組みめるよう種類を増やしていく
3	施設外に出て、散歩や公園に遊びに行ったり、ゴミ拾いなどの地域の美化活動に参加している	公園での自由時間で室内では出来ないような遊具を使った遊びや運動で体を動かし、公園で遊ぶ時のルールや道路や信号などの交通ルールを学ぶ	近くの公園に行くことが多いので行き先を色々と増やしていきたい 公園で地域の子供たちと一緒に遊んだり、遊具と一緒に使う際順番やルールを学んでいってほしい

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者同士の交流の場がない	人材と時間の余裕がなく交流の場を作ることが難しい	どのような形で交流の場を作るか検討していきたい
2	地域の子供たちとの交流がない 事業所以外での交流する場がない	必要性を感じていなかった	地域の行事に積極的に参加し、保護者に周知していきたい
3	バリアフリーへの対応	施設が2Fにある為、急な階段や施設内に段差がある為バリアフリーに対応できていない	可能な範囲でバリアフリーに対応し、段差がある所は補助についてサポートする